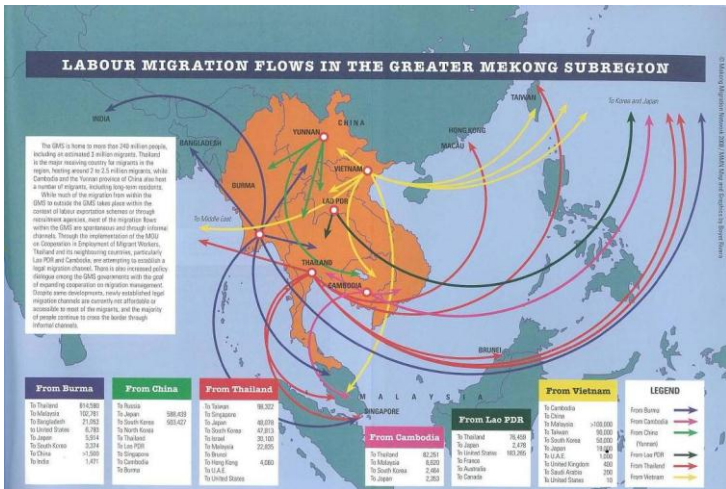


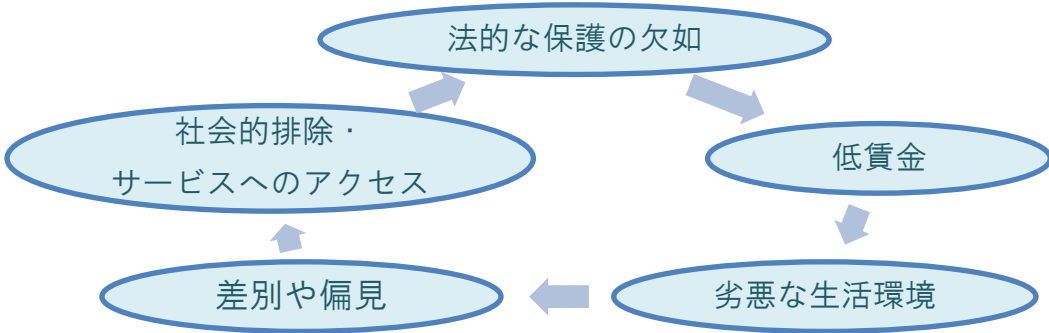
メコン地域における移住労働とMMNの取り組みについて

1. メコン地域における移住労働の状況



- 中国の雲南省を含めたメコン地域（Greater Mekong Subregion: GMS）の人口は3億超、経済統合が進みつつある
- 労働移民の数は400-450万人と推計
- 300万人超が近隣国（ミャンマー・ラオス・カンボジア）からタイへの移民、非公式移民がタイ政府によって登録・居住を認められるケースも
- 近年、近隣国が二国間協定等の正規登録手続きを整備するように
- 建設業・農漁業・製造業・家事労働・エンターテイメント等に従事

2. 課題

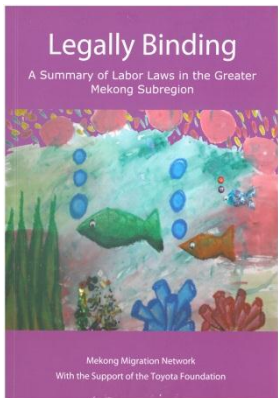
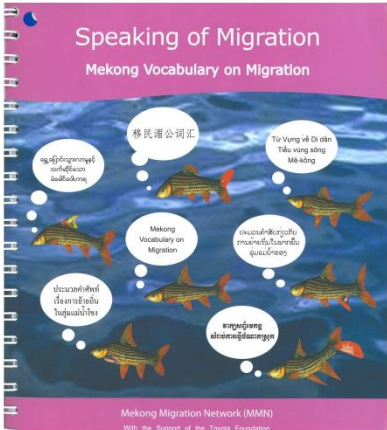


レベル	課題
ASEAN/GMS	<ul style="list-style-type: none"> ● 2007年 ASEAN移住労働者促進・保護宣言の拘束力 ● 非正規(Undocumented)手続きによる移民の保護欠如 ● 地域各国の政治・経済・社会体制の違い・隣国間対立
各国内	<ul style="list-style-type: none"> ● 各国内でも省庁等によって態度が異なる ● 移民コミュニティ・受け入れ地域に政策を伝え、政策対話に包摂する難しさ

3. MMN (Mekong Migration Network) の取り組み

【MMN概要と活動内容】

- 2001年、地域・各国で活動する20団体で設立、現在40団体超
- 調査研究・トレーニング・アドボカシー等を実施
- 各国政府やASEANでの政策対話も行う



【トヨタ財団助成によるプロジェクト】

- メコン地域の移民用語集（7か国語）と法令集作成（2009-2011）
- 用語集を用いた地域各国政府・NGO・移民グループ・研究者・国際機関等の「メコン移民シンポジウム」（2013年2月）